

再評価結果（令和4年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・技術課
担当課長名：長谷川 朋弘

事業名	地域高規格道路 銚子連絡道路 一般国道126号 山武東総道路二期	事業区分	一般国道	事業主体	千葉県
起終点	自：千葉県山武郡横芝光町芝崎 至：千葉県匝瑳市横須賀			延長	5.0km
事業概要					
<p>銚子連絡道路は、山武市から銚子市に至る延長約30kmの地域高規格道路である。</p> <p>「山武東総道路二期」は、銚子連絡道路の一部を構成し、一般国道126号の交通混雑の緩和などを目的とした延長約5.0kmのバイパス事業である。</p>					
H16年度事業化		H19年度都市計画決定		H22年度用地着手	
H24年度工事着手					
全体事業費	約141億円	事業進捗率	約52%	供用済延長	— km
計画交通量	約10,400～12,600台/日				
費用対効果	B/C	総費用	総便益	基準年	
	(事業全体) 1.01	(残事業)/(事業全体) 53/146億円	(残事業)/(事業全体) 148/148億円	令和3年	
	(残事業) 2.8	事業費：47/141億円 維持管理費：5.5/5.5億円	走行時間短縮便益：123/123億円 走行経費減少便益：20/20億円 交通事故減少便益：4.0/4.0億円		
感度分析の結果					
<p>(事業全体) 交通量：B/C=0.87～1.2（交通量±10%） (残事業) 交通量：B/C=2.4～3.2（交通量±10%）</p> <p>事業費：B/C=0.98～1.04（事業費±10%） 事業費：B/C=2.6～3.1（事業費±10%）</p> <p>事業期間：B/C=0.97～1.05（事業期間±20%） 事業期間：B/C=2.7～2.9（事業期間±20%）</p>					
事業の効果等					
<ul style="list-style-type: none"> ・日中を通して発生している国道126号の渋滞緩和と交通事故減少による安全性の向上が期待される。 ・第3次救急医療施設(国保旭中央病院)への搬送時間が短縮し、地域医療サービスの向上が期待される。 ・緊急輸送道路の1次路線や津波被害時の道路啓開候補路線に選定されている国道126号の代替路となり、リダンダンシーの向上や地域の防災機能の強化が期待される。 					
関係する地方公共団体等の意見					
<ul style="list-style-type: none"> ・沿線自治体で構成される「山武・東総地域広域幹線道路網整備促進期成同盟会同盟会」から要望を受けており、国土交通省、財務省等への要望活動も行っている。 					
事業評価監視委員会の意見					
事業継続を妥当と認める。					
事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等					
圏央道の横芝松尾ICに接続する山武東総道路一期が平成18年3月に供用している。					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
用地取得率99%、事業進捗率約52%					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
今後は令和5年度までの開通を目標に工事を推進していく。					
施設の構造や工法の変更等					
引き続き、建設発生土の有効活用の検討を進め、更なるコスト縮減に努める。					
対応方針					
事業継続					
対応方針決定の理由					
事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。					
事業概要図					

